



青春のあの頃の思い出

今回は、昭和30年卒のみ
なさまからご寄稿いただき
ました。

汽車通について

古井 陸志

現在では殆ど死語になっ
てしまった「汽車通」につ
いて書いてみた。

汽車通とは「汽車につい
て詳しい知識や見識を持っ
ている」という意味ではな
い。仕事や勉強のために、
勤め人や学生が朝夕汽車を
利用して会社や学校に通う
ことを略した言い方だ。既
に60年以上前の昭和26年頃
の話だ。当時スポーツ全盛
の時代で、特に野球の強
豪、静商、静高やサッカー
の名門、藤枝東、清商など
は憧れの的で、男子学生が
圧倒的に多かった。選手の
多くは学校の近くに下宿し
たり、合宿生活を強いられ
た。従って汽車通の学生は
私立学校に通う女生徒位し
か見かけなかった。たまに
切符を買って汽車に乗る機
会に定期券を使って改札口
を通っている人を見てとて

もうらやましく思ったもの
だ。

この年の夏過ぎ突然汽車
通が出来るチャンスが訪れ
たのだ。当時進学できる高
校は、出身中学校の存在す
る学区内の定められた学校
しか受験が出来なかったの
だが、この秋急に受験制度
が改正され商業高校、工業
高校職業高校と言われた）
については入試に合格すれ
ば県内のどこの高校にも入
学可能になったのだ。学生
帽に白線ふたすじの静商に
憧れた中学生も多勢いたこ
とでしよう。

2月に実施された入試に
合格、晴れて入学出来たこ
の年、昭和27年春の第24回
選抜高校野球大会で我が静
商は函館西校に1対0、平
安校に3対0、八尾校に2
対0、決勝戦の鳴門校を2
対0で破り4戦完封勝利で
見事優勝したのだ。この時
全試合を一人で投げきった
投手田所、これを助けた女
房役の捕手阿井、エラー皆
無の鉄壁の守備を誇った1
塁手松永、3塁手橋本、遊
撃手望月、左翼手服部の各
士の出身地は皆焼津市だっ
た。また昭和29年夏の第36
回全国高校野球選手権大会
で惜しくも決勝戦で中京商
校に敗れ準優勝にとどまっ
たときのチームで大活躍し
た一塁手興津、2塁手前田、
左翼手村松の各選手も焼津
市出身だった。

しかし、地元の焼津中学
の卒業生ではない。そのわ
けは、先に述べた学区制が
あったため中学生の早い時
期に静岡市内の学校に寄留
して静岡に進学したためだ。
汽車と言っても、もちろん
国鉄東海道本線に煙を吐い
て汽車が客車を引っ張って
走っていたわけではなく、
電気機関車にはなっていた。

通学の中心は静岡駅で静
岡より東の清水、興津、由
比、蒲原方面からの通学を
「東部汽車通」、焼津、藤
枝島田、金谷方面からの通
学を「西部汽車通」とよん
でいた。通学生にとって静
岡駅の待合室や列車を待つ
ホームは短い時間であつて
も、他校の生徒特に女学
生）との出合いのチャンス
だった。一緒に乗り合わせ
た車両でかわす会話の数分
間の楽しさや、貴重な体験
は今でも忘れられない思い
出となっている人も、多勢
居ることでしょう。社会人
となり、サラリーマン生活
で永く続いた大混雑の通勤
電車から解放されて改めて
昔の汽車通が懐かしく思い
出される今日この頃である。

資料を提供戴き有難うござ
いました。紙面を借りて
厚くお礼申しあげます。尚、
氏は現在も地元でスポーツ
発展のためにいろいろとご
活躍されているとのことと
した。

田所善次郎氏（左）と筆者



珠算部の思い出

佐藤 富士夫

昭和二十七年4月8日、
一生忘れられない日となっ
た。憧れの静岡の入学式、
その日の夕方に春の甲子園
優勝チームが静岡駅に凱旋、
提灯行列で市内を練り歩き、
二重の喜びだった。そんな
中、我々新入生は夢を抱い
て希望する部に。私は珠算
部でしたが、珠算塾で尊敬
申し上げた林
先生のご縁も
あり、一緒に
入部した9名
の半数以上の
人は、林先生
のご指導を受
けた人達でし
た。



←同期9人
↓ 珠算部全員
前列中央が林先生



「静岡90年の歩み」にも、
母校創立の4年後の明治35
年に珠算教室が増設され
たとある。珠算部創部は昭和
12年、諸先輩の懸命なご努
力で大変な時代を乗り越え、
感謝に堪えません。私達同
期生部員の中には、後に母
校の校長になられた原川氏
や女性部員3名もおり誇り
に思います。

部活動は、三輪先生や林
先生そして上級生の皆さん
の厳しくも思いやりあるご
指導で、毎日暗くなるまで
楽しく練習に励みました。

県大会では浜商、全国大
会では宇都宮商業と優勝争
いが続きました。昭和28
年嬉しい出来事がありまし
た。2年生になった年の全
国大会読上算個人の部で、
鈴木伸さんが見事優勝した
のです。万歳 万歳

卓球部の思い出

と健康法

大森 泰次

静岡に昭和27年に入学し、
すぐに卓球部に入部しました。
中学時代に卓球をやっていた
かったため、フォーム、フツ
トワーク、うさぎ跳びの練習
ばかりで、毎日疲れるだけで
したが、退部せず3年間よく
頑張った。卓球部は、校内で
は強いのか弱いのかあまり知
られていなかったが、イン
ターハイ予選の県大会に出場
して、あと一歩で全国大会に
出場はできませんでした。し
かし、昭和29年には、県大会
3位となり、山梨対静岡の山
静大会で見事優勝することが
できた。

3年間卓球をやっていたお
かげで、地元の2つの卓球ク
ラブに入会し、毎週日曜日
と水曜日に各3時間の練習を
しています。そして、近隣の
自治会対抗戦が毎年3回行わ
れ、団体戦、個人戦に出場し
て、そこそこの成績を残して
います。

卓球は運動量が多く、冬で
も半袖のユニフォームで練習
をしてもかなりの汗をかき
ます。夏は夏でユニフォーム
を絞ると水滴が落ちるほど汗
をかきます。新陳代謝もよく、
病気で寝ることも、この50年
間ありません。

